

令和4年度
2022

要覧



岩手県立総合教育センター

The General Education Center of Iwate



「所章」

- ・岩手県の木である南部赤松を意匠としたものです。
- ・松の木の千年に教育の永遠性を託し、松を基調とした図案です。
- ・松の交叉は、腕を相たずさえて教育を力強く発展させる意味を表現したものです。

平成元年10月16日制定

デザイン：小笠原 卓雄



「すべては光る」

みずから光る太陽も偉大ですが、太陽の光を受けて輝きを放つ月にも何ともいえない魅力を感じます。

“岩手の子どもたちが、親や教師をはじめ地域の方々からの光を受けて、新たな時代に光り輝く子どもに育ってほしい” 「すべては光る」には、このような願いが込められています。

詩「すべては光る」 坂村 真民 作
(元高校教諭・詩人 1909-2006)

※「すべては光る」は、当センターWebページ等に
使われています。

目次

I 基本方針	1
II 組織・機構	1
III 事業の概要	2
1 研修事業	4
2 支援事業	9
3 研究事業	12
IV ご案内	14
V 研修講座年間計画	16
VI 職員一覧	18
VII 施設の概要	20
VIII 歴代所長	23
IX 沿革	23
X 英文案内	25

I 基本方針

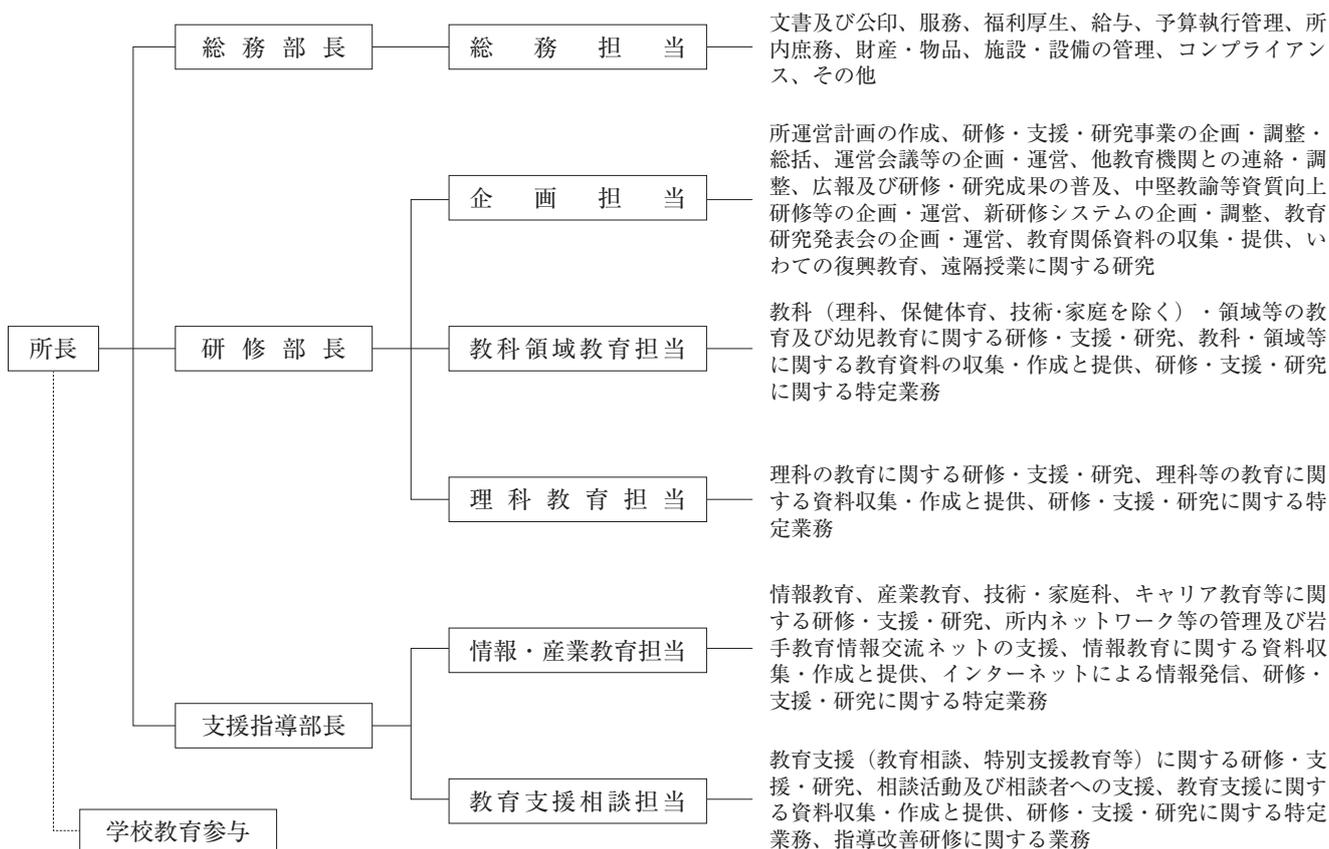
1 基本目標

いわての復興教育や確かな学力の育成など本県の教育課題を解決し教育活動の充実や教職員の資質能力の向上に資するため、「いわて県民計画（2019～2028）」「岩手県教育振興計画」「岩手県教育委員会経営計画」等を踏まえるとともに市町村教育委員会や関係機関と連携しながら、幼児児童生徒や保護者、教職員及び学校等の課題やニーズに応える研修・支援・研究を通じて、教職員の主体性につながり魅力ある現場に役立つセンターとしての役割を果たす。

2 基本方針

- (1) 岩手県教育振興計画が掲げる基本目標「学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり」を実現し、学校や地域社会のニーズに応え本県の教育課題の解決に資する「現場に役立つセンター」としての計画的・効果的な研修の充実に取り組む。
- (2) 遠隔地域にある学校等への研修支援、幼児児童生徒、保護者、教職員等からの教育相談、学校等の研修・研究への支援など、関係機関との連携のもと教育課題や地域のニーズに対応した支援業務を適切かつ迅速に進める。
- (3) 本県の教育課題の解決に繋がり現場に役立つ研究となるように、学校や関係機関と連携を図りながら、先進的・実践的な研究の充実に取り組む。
- (4) 研修・支援・研究業務を推進するため、専門性とマネジメント力を備えた組織を目指す。

II 組織・機構



推進委員会の設置

総合教育センターにおける研修・支援・研究の各業務の円滑な推進を図るため、次のとおり組織横断的に推進委員会を設置しています。

- ・研修推進委員会
- ・支援推進委員会
- ・研究推進委員会

Ⅲ 事業の概要

「いわて県民計画（2019～2028）」

岩手県教育振興計画	【基本目標】 学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり ⇒		
	1 岩手で、世界で活躍する人材の育成 7 学びの基盤づくり	2 確かな学力の育成 8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進	3 豊かな心の育成 9 学校と家庭・地域との協働の推進
本年度 県教育委員会 経営計画	■「いわて県民計画（2019～2028）」第1期アクションプラン ■岩手県ふるさと振興総合戦略 ■「いわての復興教育」プログラム（第3版） ■校長及び教員としての資質の向上に関する指標		
総合教育センター の主な事業	全般 家庭・地域との協働の学校経営	いわての復興教育 キャリア教育	学力向上・授業力向上
研修 p.4～	<input type="checkbox"/> 基本研修（初任者、2年目、3年目、教職経験者5年、中堅教諭等資質向上） <input type="checkbox"/> 特別研修（新任・教職専門等） <input type="checkbox"/> 希望研修（教科、領域等、情報教育、教育相談等、特別支援教育、幼児教育、公開研修、公開講演）		
	<input type="checkbox"/> 小・中学校新任教務主任（中央会場） <input type="checkbox"/> 小・中学校特別支援学級等設置校長 <input type="checkbox"/> 県立学校等新任教務主任Ⅰ、Ⅱ <input type="checkbox"/> 県立学校等新任生徒指導主事 <input type="checkbox"/> 県立学校等新任保健主事 <input type="checkbox"/> 県立学校ネットワーク管理者 <input type="checkbox"/> 実践 組織マネジメント <input type="checkbox"/> 時短お手軽アンケート集計 <input type="checkbox"/> 基礎からの学校Webページ作成・活用 <input type="checkbox"/> 校務で活かす初めてのExcel VBA <input type="checkbox"/> Excel（初級・中級） <input type="checkbox"/> プレゼン・動画編集初級 <input type="checkbox"/> 長期研修講座「教育研究コース」	<input type="checkbox"/> 社会につなぐキャリア教育 <input type="checkbox"/> いわての復興教育・防災教育担当者 <input type="checkbox"/> 進路指導充実のための労働関連法教育	<input type="checkbox"/> 小・中学校教諭教科スキルアップ <input type="checkbox"/> 中学校教諭教科スキルアップ <input type="checkbox"/> 高等学校教諭教科スキルアップ <input type="checkbox"/> 中学校免許外教科担任 <input type="checkbox"/> 高等学校臨時的任用教員等 <input type="checkbox"/> 中学校国語魅力ある単元づくり <input type="checkbox"/> 中学校数学授業づくり <input type="checkbox"/> 中学校美術授業づくりのポイント <input type="checkbox"/> 技術・家庭科【技術分野】の授業づくり <input type="checkbox"/> オンライン授業実践 <input type="checkbox"/> 小・中・高をつなぐ中学校英語授業づくり <input type="checkbox"/> 高等学校教科専門（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語（英語）、家庭） <input type="checkbox"/> 高等学校教科「情報」授業づくり <input type="checkbox"/> 現地に学ぶ地学 <input type="checkbox"/> 社会科・地理歴史科・公民科の系統性を踏まえた授業づくり <input type="checkbox"/> 小学校プログラミング教材活用 <input type="checkbox"/> アルディーノやマイクロビット等を用いた教材作成 <input type="checkbox"/> 小学校授業づくり（国語、算数、音楽） <input type="checkbox"/> 図画工作授業づくりのポイント <input type="checkbox"/> 小学校外国語・外国語活動授業づくり <input type="checkbox"/> スタートアップ複式指導 <input type="checkbox"/> 作って活かす小学校理科 <input type="checkbox"/> 小・中学校で学ぶ消費者教育 <input type="checkbox"/> 授業におけるICT活用 <input type="checkbox"/> わくわくミシン指導スキルアップ <input type="checkbox"/> 長期研修講座「教育研究コース」 <input type="checkbox"/> 移動センター
支援 p.9～	<input type="checkbox"/> 教育研究・教材関係資料等の収集と提供 <input type="checkbox"/> 研究の活用促進を図る研究の概要版の作成 <input type="checkbox"/> 「教育研究岩手」等の刊行 <input type="checkbox"/> 研修者のニーズや活用度等を踏まえた講座設計		
	◇教育情報・資料提供等	◇教育情報・資料提供等	◇教育情報・資料提供等
研究 p.12～	<input type="checkbox"/> 調査・研究事業（所員及び長期研修生による調査・研究） <input type="checkbox"/> 岩手県教育研究発表会		
	<input type="checkbox"/> ICTの活用に関する研究 <input type="checkbox"/> 小学校第6学年社会科におけるICTを活用した実践 <input type="checkbox"/> 小学校知的障がい特別支援学級国語科・算数科におけるICT活用の実践 <input type="checkbox"/> 小学校LD等通級指導教室自立活動におけるICTを活用した実践 <input type="checkbox"/> 中学校第2学年理科〔第2分野〕におけるICTを活用した実践 <input type="checkbox"/> 中学校第3学年理科〔第1分野〕におけるICTを活用した実践 <input type="checkbox"/> 高等学校地理歴史科「歴史総合」におけるICTを活用した実践 <input type="checkbox"/> 高等学校理科「化学基礎」におけるICTを活用した実践 <input type="checkbox"/> 高等学校第1学年家庭科「家庭基礎」におけるICTを活用した実践 <input type="checkbox"/> 高等学校第1学年工業科「工業情報数理」におけるICTを活用した実践		

- 【視点1】 岩手だからこそできる教育、やるべき教育の推進
- 【視点2】 郷土に誇りと愛着を持つ心を育み、岩手で、世界で活躍する人材を育成
- 【視点3】 学びの場の復興の更なる推進

4 健やかな体の育成	5 特別支援教育の推進	6 いじめ問題・不登校対策等への確かな対応
10 子育て支援や家庭教育支援の充実	11 生涯にわたり学び続ける環境づくり	12 次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承

⇒ 「いわての復興教育」の一層の推進と「確かな学力の育成」の取組などの多様な教育施策の実現
「知・徳・体」を総合的に兼ね備えた、社会を創造する資質・能力を育てる「人間形成」

豊かな心を育む教育・教育相談	健やかな体を育む教育・健康教育	特別支援教育
----------------	-----------------	--------

○移動センター研修、派遣研修、要請研修、随時研修、どようび研修

注) ◇印はICT活用研修講座、◆印は新規講座及び改編講座

<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校新任教育相談担当 ・教育相談コーディネーターフォローアップⅠ、Ⅱ ・いじめ問題への理解と対応 ・いじめを予防する学級集団づくり ◇◆自校で取り組む情報モラル指導 ◆教育相談スキルアップ ◆気づきと実践の教育相談 ◆感情コントロールの力を育てる教師のかかわり ・ソーシャルスキルトレーニング ・認知行動療法による不登校のアセスメントと支援Ⅰ、Ⅱ ◆保育者レベルアップ ステップⅠ、Ⅱ ◆幼児教育中核リーダー養成Ⅰ、Ⅱ ◆幼児教育アドバイザーⅠ、Ⅱ ・長期研修講座「養成研修コース」 	<ul style="list-style-type: none"> ◆養護教諭専門スキルアップ ◆栄養教諭専門スキルアップ ◆養護教諭健康相談・保健教育分野 ◆養護教諭学校救急看護分野Ⅰ、Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆特別支援教育担当ステップアップⅠ（後期研修） ◆高等学校特別支援教育コーディネーター ◇◆特別支援学校臨時的任用教員等 ◆特別支援学校寄宿舎生活指導充実 ・特別支援教育担当ステップアップⅡ、Ⅲ ◇高等学校における特別支援教育実践力向上Ⅰ～Ⅲ（※ICT活用はⅢのみ） ◇通常の学級における特別支援教育の視点を生かした支援 ◆心理・発達検査の結果を生かした支援 ◇◆特別支援教育におけるタブレットPC活用基礎 ・特別支援教育新任担当教員（スタート研修） ・通級による指導担当教員養成 ・長期研修講座「教育研究コース」
---	--	--

○所員等の研究や県内学校等の学習指導案等の Web ページによる公開

○ Web ページ・メールマガジンでの総合的な情報発信 ○教育支援相談（電話相談、来所相談、訪問相談、どようび相談）

<ul style="list-style-type: none"> ◇学校生活に関する教育支援相談 ・「ふれあい電話」相談 ・来所相談、学校等への訪問相談 ・どようび研修、どようび相談 ・震災後のこころのサポート ◇教育情報・資料提供等 	<ul style="list-style-type: none"> ◇教育情報・資料提供等 	<ul style="list-style-type: none"> ◇特別な支援に関する教育支援相談 ・「コスモスタイル」相談 ・来所相談、学校等への訪問相談 ・どようび研修、どようび相談 ・震災後のこころのサポート ◇教育情報・資料提供等
---	---	---

○総合教育センターの業務推進に関する調査（全県調査）

- ◇理論・実践研究
- ・中学校外国語科における領域統合型の言語活動の充実に関する研究
 - －領域と領域をつなぐツールとしてのICT活用を通して－
- ・キャリア教育の視点に立った進路指導に関する研究
 - －中学校特別支援学級における将来の自立と社会参加に向けた取組を通して－
- ・特別支援学校における障がい種に応じた専門性の向上と指導の充実に関する研究
 - －自立活動指導資料（肢体不自由）の作成を通して－

1 研修事業

(1) 研修の概要

県教育委員会では、教員の養成・採用・研修を通じた新たな体制を構築し、計画的・効果的に資質の向上を図るため、平成30年3月に「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を策定しました。また、教員の経験とキャリア・ライフステージに応じた教員研修体系と教員研修計画を作成し、研修の充実を図っています。なお、令和3年度をもって授業力向上研修を廃止し、令和5年度から新しい研修体系の基で研修に取り組めるよう、見直しを図ります。

総合教育センターでは、各学校におけるOJTと自己研修との相乗効果により、各キャリア・ライフステージで求められる資質の向上を図っていきけるよう、県教委事務局関係室課、各教育事務所、各市町村教委と密接に連携して各研修講座を実施しています。また、令和3年度から当センターが実施する70講座余りを「ICT活用研修」と位置づけ、ICTを活用した授業方法等に関する講義と演習を行います。

(2) 県の教職員研修体系

研修講座は、基本研修、特別研修、希望研修、派遣研修、その他の研修（移動センター研修、要請研修等）に区分されます。

県の教職員研修体系

キャリア・ライフステージ		基礎力の形成期			実践力の向上期		実践力の充実期	実践力の発展期	総合力の発揮期
年齢 (目安) 教職経験年数 (目安)		23歳～27歳 1～5年			28歳～32歳 6～10年		33歳～37歳 11～15年	38歳～47歳 16～25年	48歳～ 26年～
採用前等									
基本研修	教諭	小学校	初任者研修	2年目研修	3年目研修	教職経験者 5年研修 (6年目)	中堅教諭等 資質向上 研修		
		中学校 高等学校 特別支援学校							
		幼稚園等	初任者研修			中堅教諭等 資質向上研修 (11年目)			
	養護教諭	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	初任者研修	2年目研修	3年目研修	教職経験者 5年研修 (6年目)	中堅教諭等 資質向上 研修		
	栄養教諭	小学校 中学校 特別支援学校	初任者研修 新規任用 研修	2年目 研修	3年目 研修	教職経験者 5年研修 (6年目)	中堅教諭等 資質向上 研修		
	実習教諭・ 寄宿舎指導員	高等学校 特別支援学校	新規採用 研修						
	事務職員	新採用 研修		採用3年目 研修		中堅職員研修・新任主任等研修・新任主査研修			
特別研修	管理職 教諭等	新任研修							
	教諭等	臨時任用 教員等研修	教職専門等研修						
	事務職員	事務職専門研修							
希望研修	教諭等	採用候補者 研修	教科研修・領域等研修・情報教育研修・教育相談等研修・特別支援教育研修・幼児教育研修						
			公開研修講座（教科、情報教育研修等）						
派遣研修	教諭等	長期研修生（教育研究コース、養成研修コース）							
		通級による指導担当教員養成							
その他の研修	移動センター研修								
	要請研修 随時研修・どようび研修								
	県教育委員会 各室課が実施する研修								
	教育事務所・ 市町村教育委員会 が実施する研修								

※令和3年度をもって授業力向上研修を廃止し、令和5年度から新しい研修体系の基で研修に取り組めるよう、見直しを図ります。

(3) 令和4年度研修講座概要【当センター実施分】

ア 基本研修

※養護教諭及び栄養教諭の初任者研修、2年目研修、3年目研修、教職経験者5年研修は保健体育課の計画により、実施します。

(ア) 初任者研修講座

教員としての自覚を高めるとともに、円滑に教育活動に入り、可能な限り自立して教育活動を展開していくための素地素養や実践的指導力の育成を図ります。

小・中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等
・センター研修Ⅰ（3日間） ・センター研修Ⅱ（3日間） ・センター研修Ⅲ（3日間）	・センター研修Ⅰ（3日間） ・センター研修Ⅱ（4日間） ・センター研修Ⅲ（3日間）	・センター研修Ⅰ（3日間） ・センター研修Ⅱ（3日間） ・センター研修Ⅲ（3日間） ・センター研修Ⅳ（3日間）	・センター研修Ⅰ（2日間） ・センター研修Ⅱ（3日間） ・センター研修Ⅲ（3日間）
計9日間	計10日間	計12日間	計8日間

(イ) 2年目研修講座

現職研修の一環として、幅広い知見と使命感を養うとともに、実践的指導力の向上を図ります。

小・中学校	高等学校	特別支援学校
・センター研修（2日間）	・センター研修（2日間） ・フォローアップ研修（1日間）	・センター研修Ⅰ（2日間） ・センター研修Ⅱ（2日間）
計2日間	計3日間	計4日間

(ウ) 3年目研修講座

現職研修の一環として、幅広い知見と使命感を養うとともに、実践的指導力の向上を図ります。

小・中学校	高等学校	特別支援学校
・センター研修（2日間）	・センター研修（3日間）	・センター研修（2日間）
計2日間	計3日間	計2日間

(エ) 教職経験者5年研修講座（6年目）

学習指導、生徒指導及び学級経営等、教職一般についての職務遂行能力の一層の向上を図ります。

小・中学校	高等学校	特別支援学校
・センター研修（2日間）	・センター研修（2日間）	・センター研修（2日間）
計2日間		

(オ) 中堅教諭等資質向上研修

教育活動や学校運営の中核的な役割を果たす上で必要とされる資質の向上を図ります。

小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	養護教諭	栄養教諭	幼稚園等
・共通（1日間） ・共通選択（1日間）						・センター研修（3日間）
・小学校教諭（1日間）	・中学校教諭（1日間）	・高等学校教諭（1日間）	・特別支援学校教諭（1日間）	・養護教諭（1日間）	・栄養教諭（1日間）	
<推奨研修（任意）> ・教科スキルアップ（1日間）				<推奨研修（任意）> ・専門スキルアップ（1日間）		
計3日間（推奨研修を除く）						計3日間

イ 特別研修

(ア) 新任研修

講座番号	研修講座名	日数	研修人数（見込み）				
			幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
2131	高等学校新任教育相談担当研修講座	2				30	
2154	小・中学校新任教務主任研修講座（中央会場）	2		60	40		
2155	小・中学校特別支援学級等設置校校長研修講座	1		50	30		
2157	特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅰ（後期研修）	1		125	75		
2161	県立学校等新任教務主任研修講座Ⅰ	1				20	5
2162	県立学校等新任教務主任研修講座Ⅱ	2				20	5
2163	県立学校等新任生徒指導主事研修講座	2				20	5
2164	県立学校等新任保健主事研修講座	1				35	5
2165	県立学校ネットワーク管理者研修講座	1				75	15

(イ) 教職専門等研修

講座番号	研修講座名	日数	研修人数（見込み）				
			幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
2201	保育者レベルアップ研修講座ステップ1	1	60				
2202	保育者レベルアップ研修講座ステップ2	1	60				

2203	幼児教育中核リーダー養成研修講座Ⅰ	1	60				
2204	幼児教育中核リーダー養成研修講座Ⅱ	1	60				
2205	幼児教育アドバイザー研修講座Ⅰ	1	30				
2206	幼児教育アドバイザー研修講座Ⅱ	1	30				
2221	中学校免許外教科担任研修講座	2			40		
2231	高等学校特別支援教育コーディネーター研修講座	1				76	
2233	高等学校臨時的任用教員等研修講座	2				60	
2241	特別支援学校臨時的任用教員等研修講座	1					50
2242	特別支援学校寄宿舎生活指導充実研修講座	1					16
2251	特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅱ	1		(80)	(40)		
2252	特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅲ	1		(60)	(30)		
2271	社会につながるキャリア教育研修講座	1		20	15	6	3
2273	教育相談コーディネーターフォローアップ研修講座Ⅰ	1		10	10	7	3
2274	教育相談コーディネーターフォローアップ研修講座Ⅱ	1		10	10	7	3
2275	いわての復興教育・防災教育担当者研修講座	1		12	12	20	4
2276	いじめ問題への理解と対応研修講座(管理職・主任層対象・いじめ関連講座)	2		54	27	13	2
2277	いじめを予防する学級集団づくり研修講座(学級担任層対象・いじめ関連講座)	2		54	27	13	2

ウ 希望研修

(ア) 教科研修

講座番号	研修講座名	担当	日数	研修人数(見込み)				
				幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
3111	小学校教諭「教科スキルアップ」研修講座	教科領域教育	1		125			20
3121	中学校国語魅力ある単元づくり研修講座	教科領域教育	1			20		
3123	中学校数学授業づくり研修講座	教科領域教育	1			25		
3124	中学校美術授業づくりのポイント研修講座	教科領域教育	1		2	6	2	2
3125	技術・家庭科(技術分野)の授業づくり研修講座	情報・産業教育	1			5		5
3126	小・中・高をつなぐ中学校英語授業づくり研修講座	教科領域教育	1		2	14	2	2
3127	中学校教諭「教科スキルアップ」研修講座	情報・産業教育	1			156		20
3131	高等学校教科専門研修講座「国語」	教科領域教育	1				8	2
3132	高等学校教科専門研修講座「地歴・公民」	教科領域教育	1				8	2
3133	高等学校教科専門研修講座「数学」	教科領域教育	1				8	2
3134	高等学校教科専門研修講座「理科」	理 科 教 育	2				12	4
3135	高等学校教科専門研修講座「外国語(英語)」	教科領域教育	1				8	2
3136	高等学校教科専門研修講座「国語」	情報・産業教育	1				5	5
3137	高等学校教諭「教科スキルアップ」研修講座	理 科 教 育					222	20
3161	高等学校教科「情報」授業づくり研修講座	情報・産業教育	1				8	2
3171	現地に学ぶ地学研修講座	理 科 教 育	1		2	2	2	1
3173	社会科、地理歴史科、公民科の系統性を踏まえた授業づくり研修講座	教科領域教育	1		4	4	4	

(イ) 領域等研修

講座番号	研修講座名	担当	日数	研修人数(見込み)				
				幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
3261	進路指導充実のための労働関連法教育研修講座	情報・産業教育	1				10	
3271	実践 組織マネジメント研修講座	情報・産業教育	1		5	5	5	5

(ウ) 情報教育研修

講座番号	研修講座名	担当	日数	研修人数(見込み)				
				幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
3311	小学校プログラミング教材活用研修講座	情報・産業教育	1		15			5
3371	時短お手軽アンケート集計研修講座	情報・産業教育	1		5	5	5	5
3372	オンライン授業実践研修講座	情報・産業教育	1		5	5	5	5
3373	基礎からの学校Webページ作成・活用研修講座	情報・産業教育	2		6	6	6	2
3374	自校で取り組む情報モラル指導研修講座	情報・産業教育	1		6	6	6	2
3375	校務で活かす初めてのExcel VBA研修講座	情報・産業教育	1		4	4	4	4
3377	アルディノやマイクロビット等を用いた教材作成研修講座	情報・産業教育	1		5	5	5	

(エ) 教育相談等研修

講座番号	研修講座名	担当	日数	研修人数(見込み)				
				幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
3471	気づきと実践の教育相談研修講座	教育支援相談	1		12	12	12	9
3472	養護教諭健康相談・保健教育分野研修講座	教育支援相談	1		5	5	3	2
3473	養護教諭学校救急看護分野研修講座Ⅰ	教育支援相談	1		20	10	8	2
3474	養護教諭学校救急看護分野研修講座Ⅱ	教育支援相談	1		20	10	8	2
3475	感情コントロールの力を育てる教師のかかわり研修講座	教育支援相談	1	10	20	10	10	10

3476	教育相談スキルアップ研修講座	教育支援相談	2		10	10	15	5
3477	ソーシャルスキルトレーニング研修講座	教育支援相談	2		8	8	8	6
3478	認知行動療法による不登校のアセスメントと支援研修講座Ⅰ	教育支援相談	1		6	6	5	3
3479	認知行動療法による不登校のアセスメントと支援研修講座Ⅱ	教育支援相談	1		6	6	5	3
3481	養護教諭「専門スキルアップ」研修講座	教育支援相談	1		10	6	5	4
3482	栄養教諭「専門スキルアップ」研修講座	教育支援相談	1		7		4	4

(オ) 特別支援教育研修

講座番号	研修講座名	担当	日数	研修人数(見込み)				
				幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
3531	高等学校における特別支援教育実践力向上研修講座Ⅰ	教育支援相談	2				10	
3532	高等学校における特別支援教育実践力向上研修講座Ⅱ	教育支援相談	2				10	
3533	高等学校における特別支援教育実践力向上研修講座Ⅲ	教育支援相談	2				10	
3571	通常の学級における特別支援教育の視点を生かした支援研修講座	教育支援相談	2	6	7	8	6	3
3572	心理・発達検査の結果を生かした支援研修講座	教育支援相談	1		15	10	5	10
3576	特別支援教育におけるタブレットPC活用基礎研修講座	教育支援相談	1		5	5	5	10
3577	特別支援教育新任担当教員研修講座(スタート研修)	教育支援相談	1		100	50		

(カ) 公開研修 ※令和3年度、(カ)は幼児教育研修だったが、全て特別研となったため、幼児教育研修はなくなった

講座番号	研修講座名	担当	日数	研修人数(見込み)					
				幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他
3611	小学校国語授業づくり研修講座	教科領域教育	1		20				
3612	小学校算数授業づくり研修講座	教科領域教育	1		38			2	
3613	小学校音楽授業づくり研修講座	教科領域教育	1		15			5	
3614	図画工作授業づくりのポイント研修講座	教科領域教育	1	4	15	5		6	
3615	小学校外国語・外国語活動授業づくり研修講座	教科領域教育	1		14	2	2	2	
3616	スタートアップ複式指導研修講座	教科領域教育	1		15			5	
3617	作って活かす小学校理科修講座	理科教育	1		9			3	
3651	小・中学校で学ぶ消費者教育研修講座	情報・産業教育	1		5	5			
3673	Excel研修講座(初級・中級)	情報・産業教育	1		4	4	4	4	事務職員可
3674	授業におけるICT活用研修講座	情報・産業教育	1		5	5	5	5	
3675	プレゼン・動画編集初級研修講座	情報・産業教育	1	3	3	3	4	2	
3676	わくわくミシン指導スキルアップ研修講座	情報・産業教育	1		3	2	3	2	

エ 派遣研修

総合教育センターの長期研修等に対応した研修講座

①総合教育センター長期研修講座「教育研究コース」	(1年間)
②総合教育センター長期研修講座「養成研修コース」	(1年間)
③総合教育センター通級による指導担当教員養成研修講座	(3か月間)

オ 要請研修

教育事務所、市町村教育委員会、学校等の希望に対応する研修

カ 移動センター研修

被災地及び遠隔地における教職員の研修支援及び研修機会の平等を期して、総合教育センター所員が現地に出向いて行う研修

キ 随時研修・どようび研修

課題解決のために、研修者が随時、総合教育センターを訪れて進める研修

ク 公開講演

研修講座の中で行われる講演のうち、研修対象者以外にも公開するもの

講座番号	講演題	講師	日時
5001	児童・生徒の自殺対策について	未来の風せいわ病院 理事長 智田 文徳	4月20日(水) 13:45~15:30
5002	高校生の発達障がい理解と支援	東北福祉大学 教授 大西 孝志	4月26日(火) 9:00~12:00
5003	発達障がい理解と支援	東北福祉大学 教授 大西 孝志	4月26日(火) 13:00~16:15
5004	企業経営における組織マネジメント	(株)小友木材店 専務取締役 小友 康広	9月2日(金) 15:15~16:45

※講演題・時間は、都合により変更になる場合があります。

災害等が発生した場合の研修講座の取り扱いについて

地震、津波、台風等の天災、大規模停電、公共交通機関の不通等が発生した場合の研修講座の取り扱いについては、電話等による問合せに対応する他、緊急連絡用サイトによる情報提供も行います。

【緊急連絡用サイトの利用の仕方】

携帯電話等で右のQRコードを読み取り、そのままアクセスしてください。

インターネットを利用する場合は、次のURLにアクセスしてください。

URL <http://link.netcommons.net/iwaedcenter/htdocs>



(4) 令和3年度研修講座実施実績

ア 研修講座数及び校種ごとの研修講座延べ回数

体系	区分	研修講座数								複数校種(*2)の校種ごとの研修講座延べ回数											
		単独校種*1							複数校種*2	計											
		幼稚園等	保育所	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	事務職他			幼稚園等	保育所	こども園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	事務職他	計		
基本研修	初任者研修			3	3	3	4			13	3		3								6
	2年目研修			1	1	2	2			6											
	3年目研修			1	1	1	1			4											
	教職経験者5年研修			1	1	1	1			4											
	中堅教諭等資質向上研修										1	1	1								3
	授業力向上研修			2	1	1	1			6				6	6	5	6				23
	小計			8	7	8	9			6	4	1	4	6	6	5	6				32
特別研修	新任研修					1				7				3	3	4	4				14
	教職専門等研修					1	2	2		8				8	8	6	6	3			31
	小計					1	3	2		15				11	11	10	10	3			45
希望研修	教科研修			2						8				5	6	7	7				25
	領域等研修				1					1				1	1	1	1	1			5
	情報教育研修									7				7	6	6	6				25
	教育相談等研修					1				9	1	1	1	9	9	8	8				37
	特別支援教育研修					3				4	1	1	1	4	4	3	3				17
	幼児教育研修									3	3	3	3							2	11
	公開研修			1						11	2	2	2	11	7	5	10				39
小計			3	5					43	7	7	7	37	33	30	35	3			159	
派遣研修			1						2				1	1	2	2				6	
合計			12	13	11	11			66	11	8	11	55	51	47	53	6			242	

*1：単独の校種を対象としている研修講座

*2：複数の校種を対象としている研修講座

【校種ごとの研修講座延べ回数 (全体)】

校種	幼稚園等	保育所	こども園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	事務職他	合計
研修講座延べ回数	11	8	11	65	61	63	64	6	289

イ 校種ごとの研修者数

体系	区分	単独校種								複数校種								合計①+②				
		幼稚園等	保育所	こども園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	計①	幼稚園等	保育所	こども園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		その他	計②		
基本研修	初任者研修				395	206	121	90		812	68	3	68							139	951	
	2年目研修				127	73	85	49		334											334	
	3年目研修				116	81	43	37		277											277	
	教職経験者5年研修				82	45	48	29		204											204	
	中堅教諭等資質向上研修										6		13							19	19	
	授業力向上研修				256	150	177	56		639				567	340	378	132			1,417	2,056	
	小計				976	555	474	261		2,266	74	3	81	567	340	378	132			1,575	3,841	
特別研修	新任研修						31			31				264	141	93	26			524	555	
	教職専門等研修						36	113	50	199				157	94	53	21	7		332	531	
	小計						36	144	50	230				421	235	146	47	7		856	1,086	
希望研修	教科研修					15				15				1	16	28	4			49	64	
	領域等研修							3		3				4	3	11	3			21	24	
	情報教育研修													10	10	34	3			57	57	
	教育相談等研修							15		15	1	3		57	36	33	21	1		152	197	
	特別支援教育研修							26		26	2	3	2	111	58	18	17			211	237	
	幼児教育研修										21	50	34							8	113	113
	公開研修				8					8				32	12	21	13	3		81	89	
小計				8	15	44			67	24	56	36	215	135	145	61	12		684	751		
派遣研修									6				2	1	2	2			7	13		
合計				990	606	662	311		2,569	98	59	117	1,205	711	671	242	19		3,122	5,691		

【校種ごとの研修者延べ人数】

校種	幼稚園等	保育所	こども園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	事務職他	合計
研修講座延べ人数	98	59	117	2,195	1,317	1,333	553	19	5,691

2 支援事業

(1) 教育支援相談

幼児児童生徒、保護者及び教職員等に対して、子供の教育支援を共に考え総合的にサポートするために、相談の機会を提供し、具体的な対応や指導の在り方等の援助を行います。また、教職員等の研修の機会となるよう配慮し、地域や学校の実情に即した相談活動を推進します。

内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 就学や進路について悩んでいる ◆ 学校に登校できない ◆ 性格や言動のことが気になる ◆ いじめがあるようだ ◆ 非行や暴力、怠学等で困っている ◆ 拒食やリストカットで悩んでいる ◆ 生活が昼夜逆転している ◆ 人とのかかわりやコミュニケーションが気になる ◆ 学習のつまずきや遅れ、偏りが気になる ◆ 見え方や聞こえ方が心配、ことばが気になる ◆ 集団行動での落ち着きのなさが心配 ◆ 興味の偏りや狭さを感じられる ◆ 家庭での養育やしつけについて悩んでいる 等 				
方法	<p>相談は無料とし、相談内容の秘密を厳守します。</p> <p>【電話相談】 月～金（祝日を除く） 午前9時～午後5時</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">ふれあい電話</td> <td style="padding: 5px;">0198(27)2331</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">コスモスダイヤル</td> <td style="padding: 5px;">0198(27)2473</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> *主に学校生活や養育に関すること *主に発達に関すること <p>【来所相談】 月～金（祝日を除く）原則 午前9時半～、午後1時半～（90分程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> *原則として、幼児児童生徒・保護者・教職員等を対象とし個別に対応します。 *保護者または教職員のみ相談にも対応します。 *電話による予約が必要です。上記「ふれあい電話」「コスモスダイヤル」にて受け付けます（保護者・学校どちらからでも可）。 <p>【どようび相談】 5月～2月（原則）の土曜日 午前9時半～、午後1時半～（90分程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> *特別の事情等により、土曜日でなければ都合のつかない場合に実施します。 *電話による予約が必要です（原則として相談希望日の2週間前までに）。上記「ふれあい電話」「コスモスダイヤル」にて受け付けます（保護者・学校どちらからでも可）。 <p>【訪問相談】</p> <p>所員が学校に訪問し、教職員とのケース検討会、児童生徒や保護者との面談等に対応します。市町村立の幼稚園・保育所・こども園及び小中学校においては、市町村教育委員会を通じてお申し込みください。</p> <p>また、県立学校は、直接教育センターにお申し込みください。</p> <p>なお、訪問相談に係る旅費については、各公所等の負担となります。</p> <p>この他に、高田高校、釜石高校、宮古高校、久慈高校を会場として、沿岸地区相談室をそれぞれ年数回開設します。</p>	ふれあい電話	0198(27)2331	コスモスダイヤル	0198(27)2473
ふれあい電話	0198(27)2331				
コスモスダイヤル	0198(27)2473				

〔教育相談件数（令和3年度）〕（ ）内は令和2年度

主訴	生徒指導全般	進路	学業	家庭生活	その他	計
件数	721 (1,205)	24 (19)	281 (256)	40 (68)	568 (264)	1,634 (1,812)

(2) 要請研修

要請研修は、教科研修、領域等研修、情報教育研修、教育相談等研修、特別支援教育研修などの内容について、教育事務所、市町村教育委員会、各学校等の要請を受け、総合教育センターの研修指導主事が各地に出向いて行う研修です。

具体的な研修内容等については、各担当に電話・メール等でお問い合わせください。その際、市町村教育委員会へ事前に確認することや旅費の負担等、申し込み手続き上の留意点がありますので、詳しくは「教職員研修の手引」23ページをご覧ください。



〔令和3年度実施状況〕（ ）内は令和2年度

内容	国語、社会/地理歴史・公民、算数/数学、理科、生活、音楽、図工/美術、食育・健康、家庭/技術・家庭、外国語、外国語活動、道徳、特別活動、生活/総合的な学習の時間、学校経営/組織マネジメント、カリキュラム・マネジメント、授業改善、進路指導/キャリア教育、情報教育、ICT活用、小規模・複式、保育/幼稚園、特別支援教育、教育相談/生徒指導、高校専門教育 など		
件数	106件 (97件)	研修者数	2,264名 (4,348名)

(3) 移動センター研修

移動センター研修は、被災地及び遠隔地における教職員の研修支援及び研修機会の平等を期して、総合教育センターの研修指導主事が各地に出向いて行う研修です。

被災地及び遠隔地にある市町村単位での実施を原則とします。

〔令和4年度実施可能な内容等〕

- ・教科指導に関する講義、演習、授業
- ・ICT活用を含む情報教育に関する講義、演習
- ・移動センター研修の事後指導（授業参観と指導助言、授業研究会での助言等）



〔令和3年度実施状況〕（ ）内は令和2年度

内容	理科、図画工作		
件数	3件 (1件)	研修者数	42名 (16名)

(4) 随時研修・どようび研修

随時研修は、研修者のニーズに合わせた研修及び課題解決のため、総合教育センターの施設・設備を利用して行う研修です。個人、グループ等の自発的な研修希望に応じます。研修者1人からでも対応可能です。申込みは電話・メールで受け付けています。

どようび研修は、自主研修等をサポートするものです。原則として5月～1月の第2・第4土曜日に実施しています。

詳しくは各担当に電話・メール等でお問い合わせください。



〔令和3年度実施状況〕（ ）内は令和2年度

内容	国語、社会/地理歴史・公民、理科、生活、図工/美術、道徳、食育・健康、家庭/技術・家庭、特別活動、総合的な学習の時間、授業改善、情報教育、ICT活用、保育/幼稚園、特別支援教育、教育相談/生徒指導 など		
件数	70件 (75件)	研修者数	227名 (261名)

(5) 教育情報・資料提供等

県内外の教育研究資料及び教材関係資料等を重点的に収集整理し、各学校及び教育関係機関に提供しています。

ア 所蔵している教育関係図書及び教育関係資料（令和3年度）

教育関係図書 18,042冊 教育関係資料 51,530冊（常時利用・貸出し可能）

イ インターネットによる資料公開（<http://www.liwate-ed.jp/>）

〔データベースの内容〕（令和3年度）

教育研究	所員及び長期研修生の研究	492件
学習指導案	県内の学校・教育機関で作成された学習指導案	6,693件

ウ メールマガジンの発行

センターの研修・支援・研究等に関する最新情報を電子メールで配信しています。

エ フェイスブックによる情報発信

公式フェイスブックを通じ、実施した研修講座の様子や希望研修の案内などの情報発信を随時行っています。

(6) センター一般公開

令和4年11月3日（木）文化の日 開催

県では11月1日～7日を「いわて教育週間」と定めて、教育に対する関心と理解を深めるとともに教育の充実と発展に資することを目的として、各種の取組を行っています。

当センターでも例年、公開イベントとして子供たちの好奇心を揺り動かす楽しい体験プログラムを用意していますので、ご家族揃ってぜひお越しください。



3 研究事業

(1) 研究事業の概要

本県教育における重要な諸問題について研究し、有効な解決方策を明らかにし、研修や支援に活かすものです。

研究の対象は、県の喫緊の課題である幼児児童生徒の学力向上、豊かな心を育む教育、特別支援教育の充実等にかかわる内容や各教科、教育相談、情報教育などです。

研究の成果は、2月の教育研究発表会で発表するとともに、その内容をwebにより配信し、普及に努めます。さらに、研究成果を積極的に盛り込んだ研修講座を実施します。

(2) 令和4年度研究のテーマ及び概要等

ア 所員の研究

ICTを活用した学習活動の充実に関する研究【総論】2年研究（2年次）

－教員のICT活用指導力の充実に資する実践事例集の作成を通して－

本研究は、ICTを活用した学習指導を構想する際に参考となる実践事例集を作成し、各学校における教育活動や研修に役立てることにより教員のICT活用指導力の充実に資し、資質・能力を育成する主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善に資することが目的です。

これまで公表されている豊富な実践を学習場面ごとに抽出・分類し、研究協力校において、実践・実証した事例による実践事例集を作成します。作成に当たっては、教員のICT活用指導力の充実と児童生徒一人一人の主体的な学びの充実につながるものを目指します。

教科等における実践

小学校 第6学年 社会科 幕府の政治と人々の暮らし

「我が国の歴史上の事象について、課題を追究したり解決したりする活動の充実に関する実践」(教科領域教育担当)

ICTを活用することにより、教師の提示する資料から児童が主体的に疑問を見付け学習問題を設定し、教師のサポートを生かしながら解決していくことを通して、学習の問題を追究・解決する授業の一例を示すことを目指します。

高等学校 地理歴史科 歴史総合

「現代的な諸課題につながる近代化の歴史的な事象への多面的・多角的考察の充実に関する実践」(教科領域教育担当)

ICTを活用し、生徒は自らの学びの履歴を基に振り返りながら、近代化に関する自らの考えをまとめ周囲の考えを知りながら、近代化の歴史的な事象を分析する観点を選択し、議論し、その意味や意義を考察し、表現する一方で、教師が生徒の学習状況を的確に把握し、支援するツールとしてICTを活用する授業の一例を示すことを目指します。

中学校 第2学年 理科 [第2分野] (4) 気象とその変化

「『気象とその変化』について、気象データを収集し、分析・解釈する学習の充実に関する実践」(理科教育担当)

ICTを活用し、日本の天気の特徴が生じる要因を、収集した天気図や気象衛星画像などの気象データをもとに分析・解釈し表現することを通して、日本周辺の気団と関連付けて理解する授業の一例を示すことを目指します。

中学校 第3学年 理科 [第1分野] (6) 化学変化とイオン

「電極における変化を、イオンのモデルと関連付けて微視的に捉える学習の充実に関する実践」(理科教育担当)

ICTを活用し、電極における変化をイオンのモデルを用いて表現することを通して、電極で生じた電子が回路に電流として流れることをイオンのモデルと関連付けて微視的に捉えて理解する授業の一例を示すことを目指します。

高等学校 理科 化学基礎 (3)物質の変化とその利用 (ア)物質質量と化学反応式

「データの分析・解釈における考察・推論の充実に関する実践」(理科教育担当)

ICTを活用し、データをグラフで表したり、結果について考察・推論したりすることで、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現することができる授業の一例を示すことを目指します。

高等学校 家庭科 家庭基礎 B衣食住の生活の自立と設計 (3)住生活と住環境

「ライフステージに応じた住居の機能性に配慮した学習の充実に関する実践」(情報・産業教育担当)

ICTを活用することにより、住居の機能性について配慮した間取り図を作成し、生涯を見通して利用できる住居についての授業の一例を示すことを目指します。

高等学校 工業科 工業情報数理 (3)プログラミングと工業に関する事象の数理処理 ウ 数理処理

「事象をモデル化してシミュレーションする数理処理の学習の充実に関する実践」(情報・産業教育担当)

ICTを活用することにより、工業の各分野に関わる事象に着目して課題を見いだし、実践的・体験的な学習活動を通して科学的な根拠に基づき課題解決を図る数理処理の授業の一例を示すことを目指します。

小学校 知的障がい特別支援学級 国語科 算数科

「知的障がいのある児童の学習において、思考の整理を促し、表現する活動の充実に関する実践」

(教育支援相談担当)

国語科と算数科において、カメラや録音機能などを使って、情報を視覚化したり繰り返し確認したりしながら思考を整理し、自分に合った方法で自分の考えを表現する授業の一例を示すことを目指します。

小学校 LD等通級指導教室通級児童 自立活動 4環境の把握等

「自分の感覚や認知の特性について理解し、自分の得意な方法で、読むことの困難を改善することに関する実践」

(教育支援相談担当)

自立活動において、タブレットPCのアクセシビリティ機能やアプリケーションを使い、自分の得意な方法を見付け、その方法を活用しながら困難を少しずつ改善していく授業の一例を示すことを目指します。

イ 長期研修生の研究

中学校外国語科における領域統合型の言語活動の充実に関する研究

ー領域と領域をつなぐツールとしてのICT活用を通してー

(教科領域教育担当)

外国語科の目標である「簡単な情報や考えなどを理解したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力」の育成を目指して、五つの領域を関連づける統合的な言語活動を取り入れた授業の在り方を明らかにすることを目的とします。

読んだ内容を自分の言葉で再構築する、自分の考えを伝える、読んだことや話したことを書く活動につなげるなど、領域を統合することにより、各領域の目標の実現を目指します。その際、ICTを活用することで、生徒が主体的に言語活動を行い、目指す資質・能力の育成が図られる授業の一例を示すことを目指します。

特別支援学校における障がい種に応じた専門性の向上と指導の充実に関する研究

ー自立活動指導資料(肢体不自由)の作成を通してー

(教育支援相談担当)

障がいのある子供が自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加するために必要な力を培うためには、一人一人の障がいの状態等に応じたきめ細かな指導及び評価を一層充実することが重要です。本研究は、「特別支援学校における障がい種に応じた専門性の向上と指導の充実」を目的とします。

これまで本県が培ってきた肢体不自由のある児童生徒への指導方法等を整理し、特別支援学校の肢体不自由のある児童生徒への自立活動の単元構想・授業づくりの在り方について、肢体不自由特別支援学校での実践を通して明らかにしていくことを目指します。

キャリア教育の視点に立った進路指導に関する研究

ー中学校特別支援学級における将来の自立と社会参加に向けた取組を通してー

(教育支援相談担当)

特別支援学級においては、学校間の移行の視点のみならず、生徒自身が将来の自立と社会参加に向け、主体的に進路を選択することができるような進路指導のさらなる充実が求められています。本研究では、中学校特別支援学級において、早期からキャリア教育の視点に立った進路指導に取り組み、その充実を図ることを目的とします。

中学校特別支援学級における進路指導に関する情報や取組、関係機関との連携について整理し、キャリア教育の視点に立った進路学習について授業実践の取組の一例を示すことを目指します。

(3) 研究成果普及のための取組

ア 岩手県教育研究発表会での発表

令和3年度は所員研究2本、長期研修生2本の研究発表を行いました。研究成果については、下記のWebページに掲載してあります。

<http://www1.iwate-ed.jp/db/db1/index.html>

イ Webページ・メールマガジンの活用

ウ 研究リーフレットの作成・配付、手引き等研究成果物の見本展示

エ 研修講座での積極的活用

オ 要請研修・随時研修での活用

カ 外部機関・発表会等における研究成果の発信

キ 教育事務所や市町村教育委員会の指導主事と連携

ク 提案授業の実施

令和3年度の所員研究を踏まえ、中学校「国語科」(ICT)、小学校「理科」(ICT)、中学校技術・家庭科〔家庭分野〕(ICT)、特別支援学校「図画工作科」において実施する予定です。



IV ご案内

◆ 令和4年度（第66回）岩手県教育研究発表会

- | | |
|-------|--|
| 1 趣旨 | 本県の教育課題を解決するために、県内各学校・園及び教育関係機関における実践研究の成果を広く教育関係者に公開し、その理解と普及を図り、もって本県の教育の向上に資する。 |
| 2 開催日 | 令和5年2月9日（木）・10日（金） |
| 3 会場 | 岩手県立総合教育センター・岩手県立生涯学習推進センター（予定） |

■ 前年度（令和3年度）研究発表会の様子から

コロナ禍により取組を加速させてきた教育のICT化を踏まえ、「ライブ型」と「オンデマンド型」の新しい形態で実施しました。令和4年2月9日（水）の「全体会」は、ライブ型で開催し教育関係機関165名の参加がありました。2月10日（木）の「学びの改革プロジェクト研究発表」は、全体会と同様にライブ型で配信すると共に、2月14日（月）～28日（月）は、まなび箱を活用したオンデマンド型で、「特設分科会」「分科会」「企画展」の発表を行いました。オンデマンド型は、ライブ型で実施した全体会講演会と学びの改革プロジェクト研究発表の録画映像も含め、参加者各自の時間に繰り返し視聴可能にすることで、学びを深めることに繋げることができるようにしました。

本県の教育課題を踏まえた4つの特設分科会と各教科や教育課題等の15分科会を設定し、授業実践、研究成果の発表がありました。特設分科会、分科会は、20分間程度の事前録画による発表とし、それぞれに対して10分間程度の助言を動画で視聴する形としました。

企画展は、「学校紹介写真展」「学生科学賞入賞作品展」「学校公開資料展」を行いました。「学生科学賞入賞作品展」では、令和3年度第65回日本学生科学賞中央審査入選作品及び岩手県審査会における入賞作品を掲載し、「学校公開資料展」では、27校から研究内容及び成果報告がありました。

■ 2月9日（水）全体会講演会【ライブ型】



早稲田大学教職大学院 田中博之教授から、「新しい時代を拓く子どもたちの主体的な学びの充実を図るカリキュラム・マネジメント～主体的・対話的で深い学びの視点からの学習評価～」と題してご講演いただきました。主体的・対話的で深い学びの視点からの学習評価について、妥当性を持たせるための理論と方法についての具体をご紹介いただきました。

■ 2月10日（木）学びの改革プロジェクト研究発表【ライブ型】

	内容	所属	職	氏名
1	実施本部長挨拶 総論説明	岩手大学教育学部 岩手大学教育学部	学部長 教授	宇佐美 公生 宮川 洋一
2	ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」 の実現	盛岡市立飯岡小学校		
3		盛岡第三高等学校		
4		盛岡市立飯岡中学校		
5		花巻北高等学校		
6		一戸町立一戸小学校		
7		水沢高等学校		
8		一戸町立一戸中学校		
9	講評	岩手県立大学ソフトウェア情報学部	准教授	市川 尚

■2月14日（月）～2月28日（月） 特設分科会・分科会・企画展

eラーニングシステム「学びばこ」を使用



<特設分科会1 学力向上>

	内容	発表校
1	資質・能力を育成するための組織的な対応について－中学校・高等学校の6年間を見通した資質・能力の育成－	一関第一高等学校 一関第一高等学校附属中学校
2	定期テストに頼らない「評価」の取組と授業改善	盛岡市立巻堀中学校

<特設分科会2 校種間におけるカリキュラム・マネジメント>

	内容	発表校
1	主体的に活動する児童生徒の育成－考え、表現する場の工夫を通して－	盛岡市立玉山小学校
2	主体的に活動する児童生徒の育成－考え、表現する場の工夫を通して－	盛岡市立玉山中学校
3	新設教科「地域創造学」を中核とした教育課程等の開発による社会的実践力の育成－小・中・高等学校の滑らかな接続を活かして－	住田町立世田米小学校 住田町立有住中学校

<特設分科会3 コミュニティ・スクール>

	内容	発表校・発表機関
1	北上市の目指すコミュニティ・スクール導入の在り方－学校運営協議会と地域学校協働本部が連携・協働し一体となって進める取組を通して－	北上市教育委員会 北上市まちづくり部生涯学習文化課
2	岩泉町におけるコミュニティ・スクールの取組－小本小・小本中のCSの取組を中心として－	岩泉町立小本中学校
3	学校運営協議会について－取り組みの中での気付き－	一関工業高等学校
4	学校運営協議会を活用したカリキュラム・マネジメント－地域のちからを子どものちからに（八幡平市の教育）－	八幡平市教育委員会

<特設分科会4 幼小接続>

	内容	発表校・発表機関
1	学びを共有する幼小接続－環境に主体的にかかわる幼児の姿を通して－	一関市立萩荘幼稚園
2	一関市における幼小接続について	一関市教育委員会

<分科会>

15分科会で授業実践、研究成果の発表がありました。発表資料（Web公開を希望した発表のみ）は、教育センターWebページからダウンロード・閲覧が可能です。

(http://www1.iwate-ed.jp/kenkyu/siryou/index_r03.html)

01 国語	02 社会/地理歴史・公民	03 算数/数学
04 理科	05 音楽	06 図画工作/美術
07 情報教育/家庭/技術・家庭/商業	08 体育/保健体育	09 外国語活動/外国語
10 幼児教育	11 教育相談	12 特別支援教育
13 センターICT研究	14 道徳教育	15 いきる・かかわる・そなえる

V 研修講座年間計画

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31							
4月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
5月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
6月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
7月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
8月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水

研修講座年間計画

基本・特別・希望研修 ←→ 公開講座・特別支援教育どうぶ研修 ←→ 県教委各室課研修 ←→ 中堅教諭等資質向上研修 ←→ ◆総合教育センター以外の会場

VII 施設の概要

【敷地面積】

36,942.10㎡

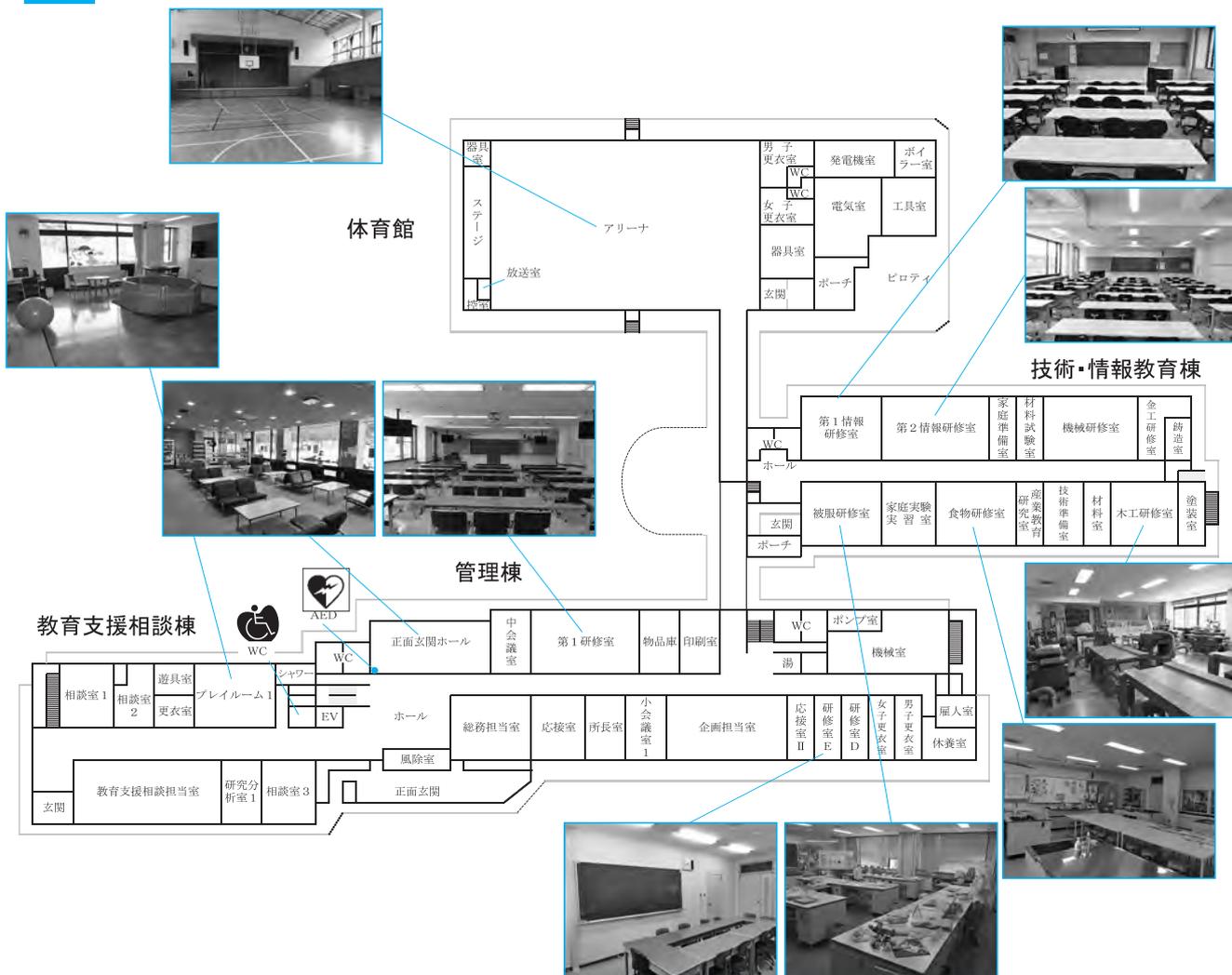
【建物面積】

棟別・面積		建物面積(㎡)	延面積(㎡)	構造
管理・教育 支援相談棟	管理棟	1,402.65	6,004.52	RC造 6F
	教育支援相談棟	550.00	1,100.00	RC造 2F
技術・情報教育棟		1,201.02	2,464.56	RC造 2F
体育棟		849.75	849.75	S造 2F
その他		343.67	390.17	
総計		4,347.09	10,809.00	

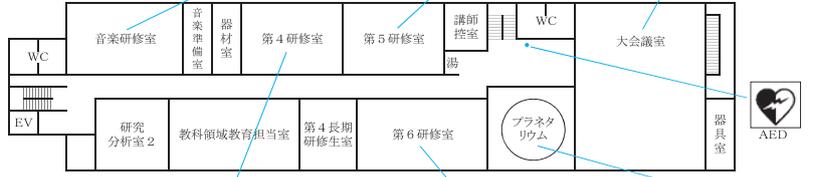


【平面図】

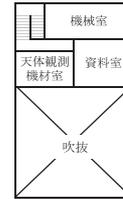
1階



4階 管理棟



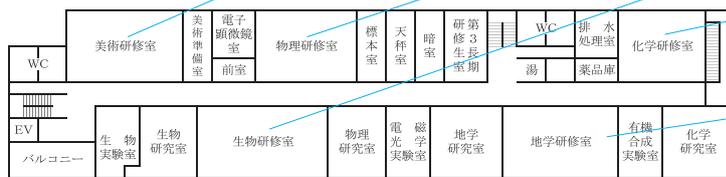
5階 管理棟



6階 管理棟



3階 管理棟



2階

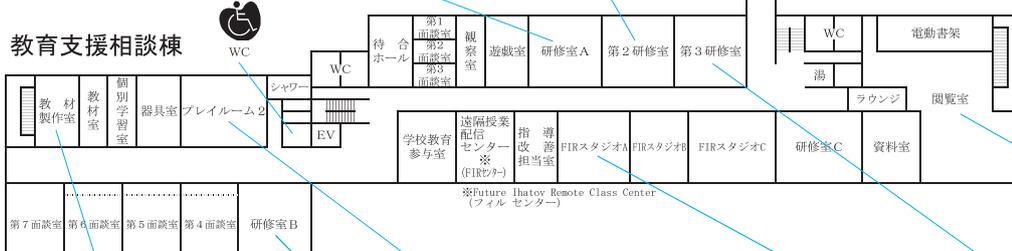


技術・情報教育棟

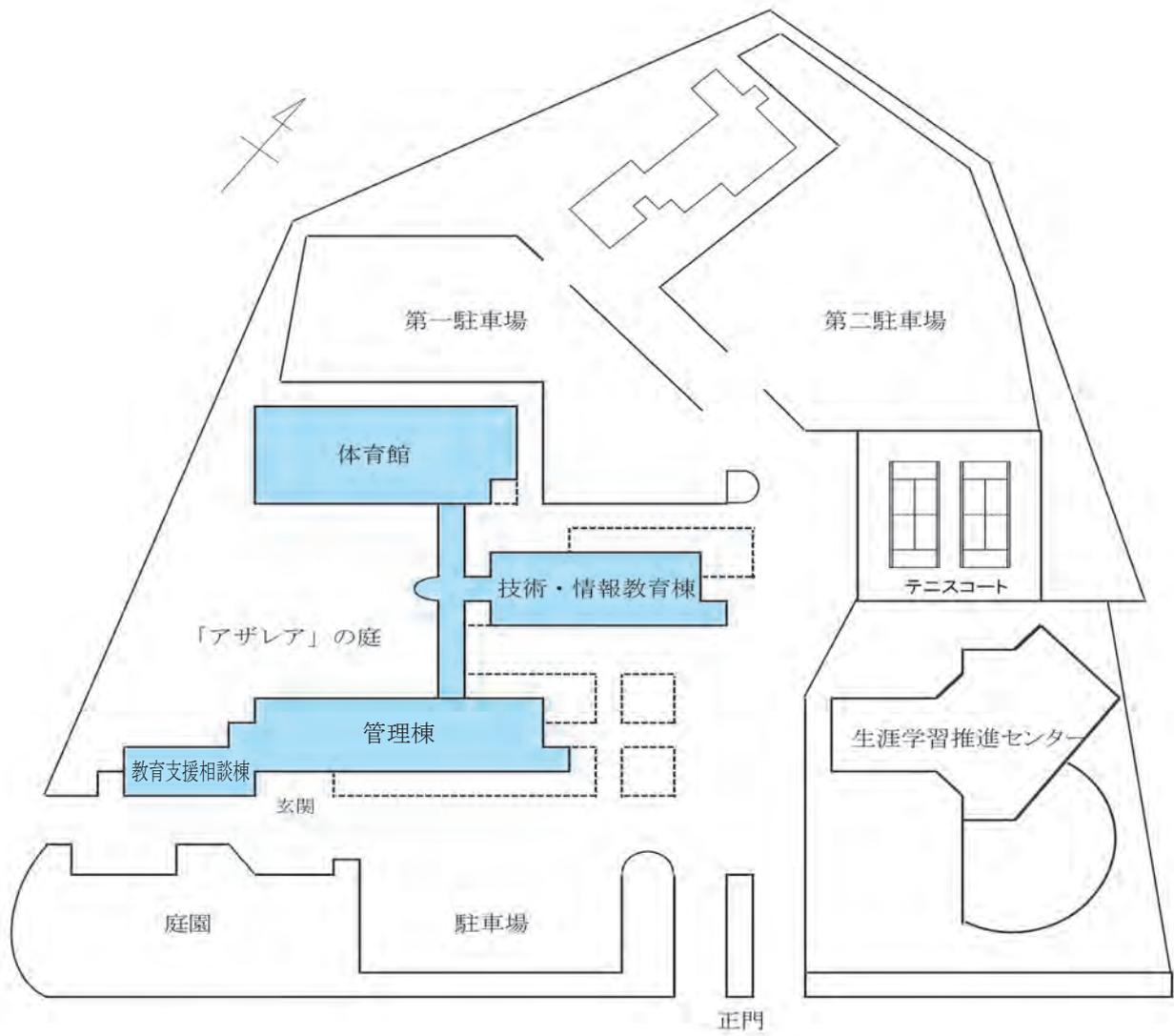


管理棟

教育支援相談棟



【総合教育センター全体図】



施設の概要

VIII 歴代所長

	氏名	在職期間		氏名	在職期間
初代	堀川 英俊	昭和63年4月～平成元年3月	10代	伊藤 勝	平成19年4月～平成20年3月
2代	鈴木 正七	平成元年4月～平成5年3月	11代	藤原 忠雄	平成20年4月～平成25年3月
3代	長澤 義正	平成5年4月～平成8年3月	12代	平賀 信二	平成25年4月～平成26年3月
4代	石川 悌司	平成8年4月～平成10年3月	13代	川上 圭一	平成26年4月～平成27年3月
5代	竹田 紀男	平成10年4月～平成13年3月	14代	高橋 勝	平成27年4月～平成29年3月
6代	五十嵐 正	平成13年4月～平成14年3月	15代	藤岡 宏章	平成29年4月～平成31年3月
7代	田口 淳一	平成14年4月～平成15年3月	16代	岩井 昭	平成31年4月～令和3年3月
8代	盛川 通正	平成15年4月～平成17年3月	17代	村上 弘	令和3年4月～
9代	吉川 健次	平成17年4月～平成19年3月			

IX 沿革

昭和23年12月31日	実態に即した教育問題を研究し、教育の改善進歩に寄与するため、岩手県教育研究所を盛岡市に設置
昭和32年7月30日	岩手県立教育研究所に名称を変更
8月1日	教育職員免許取得及び現職教育のため、岩手県立教員研究所を二戸市に設置
昭和37年7月1日	科学教育の充実を図り、理科教育の現職教育のため、岩手県立理科教育センターを盛岡市に設置
昭和41年3月31日	岩手県立教育センター設置に伴い、岩手県立教育研究所、岩手県立教員研究所、岩手県立理科教育センターを廃止
4月1日	教育水準の向上を図る総合的な研究・研修の機関として岩手県立教育センターを設置（研究、研修、庶務の3部、第1～3研究室・研修室、庶務係6室1係を組織）
昭和50年4月1日	高等学校における情報処理教育推進のため、岩手県立教育センター分館を盛岡市に設置し、情報処理部を加えた4部に改組
昭和54年4月1日	室名を教育経営、教育相談、教育資料、一般教科、産業教育の各室に変更
昭和60年4月1日	岩手県立総合教育センター建設のため、岩手県教育委員会に教育施設建設事務所を設置
昭和61年8月11日	岩手県立総合教育センター建設工事着工
昭和63年3月31日	岩手県立総合教育センター設置に伴い、岩手県立教育センターを閉所
4月27日	岩手県立総合教育センター開所式挙行
平成元年5月31日	全国教育研究所連盟第13期共同研究事務局を設置、平成3年まで全国研究集会を開催
10月1日	教育研究パソコンネットワークを県内の学校・教育施設900を対象に開設
平成3年4月26日	教育研究パソコンネットワークを「銀河コスモスネット」として拡充し、運用を開始
平成4年3月31日	情報処理生徒実習を本館に統合することに伴い、岩手県立総合教育センター分館を閉館し、情報処理部を廃止
5月20日	全国教育研究所連盟第13期共同研究「個を生かす教育の実践」を刊行
平成5年2月17日	国立教育研究所第5回教育研究公開シンポジウム「これからの学力観を求めて」を共催
平成8年3月31日	岩手県立生涯学習推進センター設置に伴い、岩手県立総合教育センター社会教育室を閉室
4月1日	「教育用ソフトウェアライブラリセンター」を開設
7月12日	インターネット設備導入・運用開始
平成9年4月1日	教員研修新体系の実施
平成10年2月16日	岩手県立総合教育センター研究発表会を「岩手県教育研究発表会」に改称
2月27日	岩手県立総合教育センターインターネットホームページ開設
平成11年3月31日	教育情報衛星通信ネットワーク設備導入
6月2日	全国教育研究所連盟総会・研究発表会岩手大会開催
平成12年10月5日	全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会初等理科部会開催

平成13年4月1日	岩手県立総合教育センター新機構、3部6室に改編
平成15年4月1日	新たに指導部を設置し、4部6室に改編
平成16年4月1日	研究部と研修部を統合し、3部6室に改編
平成17年4月1日	岩手県立総合教育センター運営協議会設置
5月19日	東北・北海道地区教育センター協議会（春季）開催
10月13日	東北・北海道地区教育センター協議会（秋季）及び東北地区教育研究所連盟総会・教育研究発表大会開催
平成18年4月1日	教育調査室を企画調査室に変更
10月26日	全国特殊教育センター協議会総会・研究協議会岩手大会開催
11月3日	「いわて教育の日」関連事業総合教育センター一般公開開始
平成19年1月9日	第50回岩手県教育研究発表会開催
4月1日	企画総務部（1担当1室）、研修部（3室）、支援指導部（2室、1担当：学力向上担当を新設）の3部に改編
11月8日	平成19年度都道府県指定都市所長協議会「生物部会（第45回）」研究協議会及び研究発表会開催
平成20年4月1日	室制を廃止し担当制に改組。3部8担当、企画総務部（2担当）、研修部（3担当）、支援指導部（3担当）に変更
平成21年4月1日	企画総務部を総務部（1担当）に改組。企画調査担当を研修部（3担当）、情報教育担当を支援指導部（3担当）に変更。学力向上担当を岩手県教育委員会事務局学校教育室に移管 本県の教育課題に対応する、授業力向上研修（34歳・44歳・54歳）を核とした新教員研修体系の実施
平成22年11月4日	全国教育研究所連盟教育課題研究協議会岩手大会開催
平成23年3月14日	東日本大震災の被災地（宮古、大槌、釜石、陸前高田）へ支援チームを派遣
4月1日	企画調査担当を企画担当に変更。教育相談担当と特別支援教育担当を統合し、教育支援相談担当に変更。支援指導部（2担当）に変更
平成23年4月	東日本大震災の学校向け支援物資の集荷・発送拠点として活動
10月20日	東北・北海道地区教育センター協議会及び東北地区教育研究所連盟総会・教育研究発表大会開催
平成25年4月1日	科学産業教育担当を理科教育担当に、情報教育担当を情報・産業教育担当に変更
平成26年4月1日	初任者を採用から3年間かけて育成する教員研修体系の実施
平成29年10月19日	東北・北海道地区教育センター協議会及び東北地区教育研究所連盟総会・教育研究発表大会、都道府県指定都市教育センター所長協議会生物分科会開催
平成31年4月1日	「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を踏まえ、キャリアライフステージに応じた新たな研修体系に基づいた研修講座を開始
令和3年3月31日	明窓館の宿泊機能廃止
10月1日	15室の無線LAN環境、5台の大型提示装置、165台のタブレット端末を導入し教員のICT活用研修のための環境を整備
令和4年3月	教員免許更新制の発展的解消に伴う授業力向上研修の廃止
3月31日	明窓館閉館

Management Policy

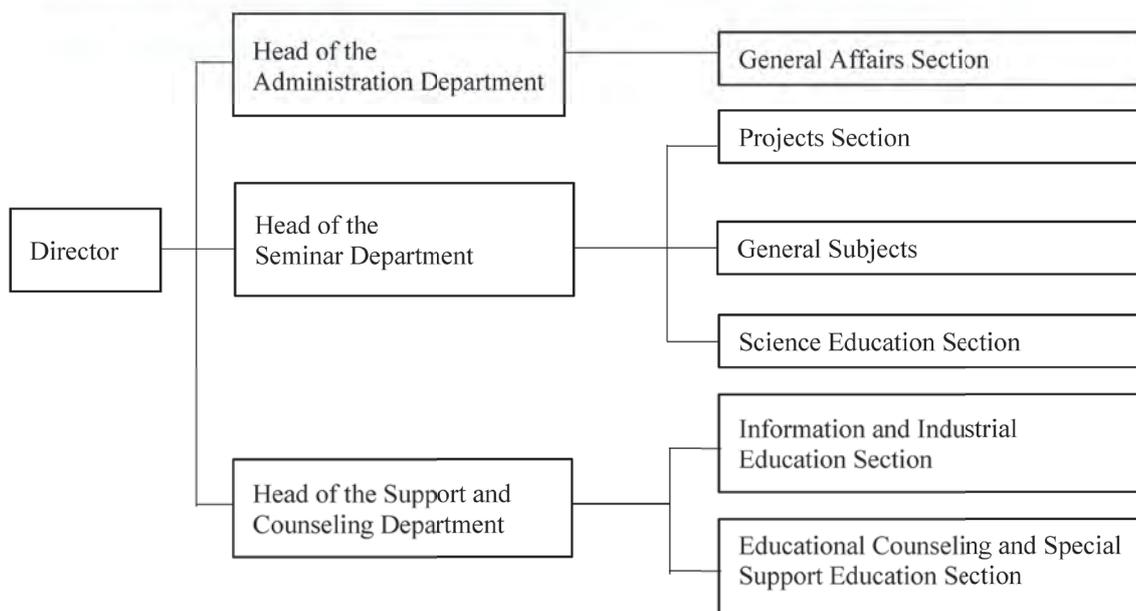
Goal

The goal of the General Education Center is to promote and realize the basic concepts of Iwate's educational administration policies by adapting to and solving problems relating to education in Iwate, creating and providing seminars, providing support, developing research useful at school to enrich the professional development of teachers, and supporting the educational needs of children, students, parents, teachers and schools throughout Iwate.



Policies

- (1) To realize the basic concepts of Iwate's educational administration policies and provide planned seminars useful at school by adapting to and solving problems relating to education in Iwate.
- (2) To support the training and research of schools throughout Iwate, and to provide consultation and support to students, parents, and teachers.
- (3) To conduct leading and practical research that leads to educational problem solving in Iwate.
- (4) To be the organization that promotes educational training, research, and support with expertise and high management ability.



Outline of business

In-service Training

To aid in the development of the skills and abilities of the educational staff in Iwate, we provide the following seminars each year.

Basic Seminars

- Five mandatory seminars for teachers during various stages of their careers. This ranges from newly recruited teachers to teachers well into their careers.

Professional Ability Seminars

- Seminars for educational staff to further develop their professional skills and abilities
- Seminars for one year and short term researchers

Open Seminars

- Seminars to cope with specific needs (during summer and winter vacation)
- Seminars to give assistance and advice to educational staff are provided all year round

Supporting System

Educational Counseling

- Counseling for a variety of educational needs such as school life and the growth of mind and body from infancy through adolescence is provided for infants, students, parents, and educational staff.
- Counseling sessions are available upon requests on Saturdays, as well as during the regular working hours of the Education Center.

Educational Resources

- In order to enhance school education in Iwate, various types of educational resources, such as books and periodicals, are collected and made available to all the educational staff in Iwate.

Library

- The library has a variety of books, periodicals and brochures related to education and they are available for loan.

Web-page (<http://www1.iwate-ed.jp/>)

- The Web-page of the Education Center provides educational information, such as: General Information about the Education Center, Research Projects, In-service Training, Support System, Introduction of Each Room, Educational Links, Schools in Iwate.

Educational Information for Iwate (<http://www.iwate-ed.jp/>)

- Educational information is provided to assist in the usage of multimedia.

Publications

- In order to make the research public, we publish:
Chronicles of Education in Iwate Prefecture, Journal of Education in Iwate, Annual Research Reports, Annual Educational Research by One-year Researchers, and News from the Education Center.

Research

- In order to make the current trends in education better understood, varied practical research is carried out.
The main fields of research are: School Management, Progress in Scholastic Ability, Educational Counseling, Information and Communication Technology, Special Support Education, and Curriculum Areas. Reports of each research are published in research publications and bulletins.
- Research done by the Education Center in all grade levels from day nurseries through senior high schools, as well as, special support schools is reported during the annual conference that will be held in February.

岩手県立総合教育センターWeb ページ

http://www1.iwate-ed.jp/

岩手教育情報交流ネットは、
こちらからアクセスすると便利です。

岩手県教育研究発表会の記録は、
こちらからアクセスすると便利です。

研修講座の申込み・実施要項等の
ダウンロードは、こちらをクリックして、
ID・パスワードを入力してください。

https://www2.iwate-school.jp/

ログイン

案内図

《 広域図 》

岩手県立
総合教育センター



岩手県立
総合教育センター



最寄り駅等からのアクセス

- 花巻I.Cから (約4km)
・車で約7分
- 花巻空港駅から (約7km)
・車で約11分
・バスで約15分
- 花巻駅から (約11km)
・車で約20分
・バスで約35分
- 新花巻駅から (約15km)
・車で約30分

岩手県立総合教育センター

〒025-0395 岩手県花巻市北湯口第2地割82番1
TEL 0198-27-2711(代表) FAX 0198-27-3562
URL <http://www1.iwate-ed.jp/>

〈担当直通電話番号〉

- | | | | |
|-------------|--------------|----------|--------------|
| ● 総務担当 | 0198-27-2711 | ● 理科教育担当 | |
| ● 企画担当 | 0198-27-2833 | ● 物理 | 0198-27-2784 |
| ● 教科領域教育担当 | 0198-27-2735 | ● 化学 | 0198-27-2774 |
| ● 情報・産業教育担当 | 0198-27-2254 | ● 生物 | 0198-27-2742 |
| ● 教育支援相談担当 | 0198-27-2821 | ● 地学 | 0198-27-2752 |
| | | ● 学校教育参与 | 0198-29-5823 |
- 学校生活に関する教育相談電話「ふれあい電話」相談 0198-27-2331
■ 発達に関する教育相談電話「コスモダイヤル」相談 0198-27-2473